

HEART POWER CHALLENGE

唐津市立成和小学校便り

令和8年度 第 4 号

令和8年 7月 3日

文責 校長 坂口 博之

学校教育目標

「ハート」 「パワー」 「チャレンジ」



学校 HP



あたたかく、力強く、自分らしく、**夢**や目標にチャレンジする成和っ子の育成

中 1 男子死亡の水難事故を受け、注意喚起！

6月15日(月)、唐津市相知町の厳木川で中学1年生6人のうちの男子生徒1名が溺れるという痛ましい死亡事故が起きてしまいました。事故現場周辺には、遊歩道が整備されており、気軽に水辺に近づくことができ、遊泳禁止エリアではなかったとのこと。しかし、現場付近は、厳木川と平山川の合流地点で、水深3mを超える場所があり、今年2月に注意喚起の看板を設置したばかりだったそうです。その看板には「河川の危険から身を守ろう」と記されています。この注意を促す看板のメッセージを、中学生がしっかり受け止めていればと残念でなりません。

15日夜のうちに、唐津市教育委員会は唐津市内の小中学校に児童生徒への安全指導を徹底する通知を出しました。「子どもだけで河川やため池に近づかないことや、溺れている人を見つけた場合は自ら救助せず、大人に助けを求めるか、通報すること」等が求められています。

そこで、成和小学校では、翌16日朝、臨時に全校集会を開き、身近なところで痛ましい水難事故が起きたこと、子どもだけで海や川に行かないこと等について話し、注意喚起を行いました。

そこで、再度保護者の方にお願いです。平日、お子さんが下校後遊びに行く場合は、行き先を確認するようにしてください。保護者の方が留守の場合は、行き先をメモに書き残す、LINE等で知らせしてから遊びに行かせるように家庭でルールを決めておくのもよいかと思えます。今回の事故を受け、特に休みの日は要注意です。ご家庭でも子どもだけで海や川に行かない、危険な遊びへの友達の誘いにのらないことを繰り返し伝えていただくようお願いいたします。

参考資料 令和8年6月17日付 佐賀新聞

海や川へ、自分たちだけ（子どもだけ）で絶対に行かない！

6月25日(木) 全校集会 校長講話より

子どもたちに「自分たちだけで海や川に行ってはいけません。」と繰り返し伝えてきましたが、海や川のどんなところが危ないのか知っておくのは大切なことと思い、全校集会で「海や川はどんなところが危ないのか」について話をしました。

そのときに使用した資料を裏面に載せています。危ない箇所の全部を説明するには時間がかかるので、いくつか絞って話をしました。

海の危険な箇所

- ②「離岸流」…岸から沖に向かう流れ。地形や波、風の向きや強さによってさまざまな流れにかわり、つかまると沖に流される。
- ⑧「波消しブロック」…波の力を和らげるためのコンクリートのブロックが置かれている。ブロックとブロックの間に隙間があり、滑りやすく落ちる。

川の危険な箇所

※番号は裏面チェックポイントを参照

- ③「中洲」…川の中で土や砂が積もっているところ。上流の雨やダム放水で急に水が増えると岸に戻れなくなる。
- ⑦「川の合流」…二つの流れが合わさるため、急に流れが大きくなったり、深くなったりしている。
- ⑧「堰堤(えんてい)」…川の流れを緩やかにするためのもの。堰堤の下流側には、いろいろな流れが起き、深くなっている危険な箇所。

海や川は、自然と触れ合うことができる場所ですが、あぶないところがいっぱいあります。ですから、お家の人といっしょに行ってください。水路やため池も同じです。 **自分の命や友達の命を守るために！**

自然に触れ合える場所である ともに危険がいっぱいの場所でもある



海の チェックポイント

ひろくて大きい海の自然を知ろう。

海は、地球で最も広く、お天気によって、いろいろと変化します。
また、波や流れなど人の力ではどうすることもできない力を持っているので、
十分な注意を忘れないようにしましょう。

1 潮流 (ちょうりゅう)

潮(しお)の満ち引きで、
水の高さや流れも変わる。

2 離岸流 (リッパレント) (りがんと)

岸から沖に向かう流れ。
地形や波、風の向きや
強さによってさまざまな
形に変わり、つかまると
沖に流される。

3 波

波は、潮(しお)の流れ
や風などによってできる。
波の大きさは、海底の
ちがいで、いろいろと変化する。
波の高いときの水遊び
や水泳はやめる。

4 まき波 (ダンパー) (まきなみ)

海底が急なしゃ面だと
波が一気に大きく、くず
れる。巻きこまれると、海
底にたたきつけられる。

5 磯・岩場 (いそ) (いわば)

ゴロゴロした動きやす
い石の多い海岸。波を
かぶったりするので、す
べりやすい。

6 河口 (かこう)

川が海に合流するところ。
流れが強くなるので、
危険な場所になっている。

7 防波堤 (ぼうはてい)、 棧橋 (せんしき)

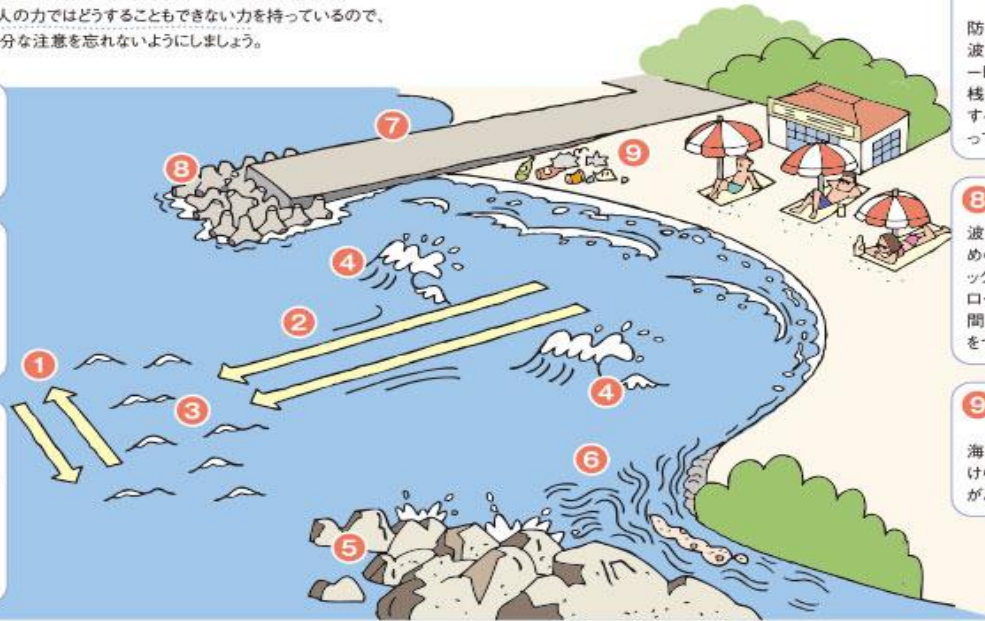
防波堤は、外海からの
波を防ぐためのコンクリ
ートの壁。
棧橋は船をつないだり
する所で、海底も深くな
っている。

8 波消しブロック

波の力をやわらげるた
めのコンクリートのブロ
ックが置かれている。ブ
ロックとブロックのすき
間に落ちないように気
をつける。

9 海岸のごみ、 流れついた物

海岸には、ガラスの
かけらや釣り針などの
ゴミがある。



川の チェックポイント

いろいろな流れをしっかりと見よう。

川辺は自然とふれあう楽しい場所です。
でも、あぶないこともたくさん、ひそんでいます。
遊んでいる場所が晴れていても、上流では雨がふっていたり、
ダム放水により一気に水が増えることもあるので、よく注意しましょう。

4 水面が わきあがって いるところ

川底の大きな石などに
流れがぶつかっている。

5 岩

岩の大きさや形、水面
の高さによって、いろ
んな流れができる。流
れの中にある岩に引
かかると水で動けな
くなる。

6 倒れた木、 流れついた木

流されて木に引っか
かると、水の重さで
動けなくなる。

7 川の合流

2つの流れが合わさ
るため、急に波が大
きくなり、いろん
な流れがおきる。

8 堰堤 (えんてい)

川の流れをゆるやか
にするためのもの。
堰堤の下流には、い
ろんな流れがおきる。

9 橋脚 (きょうきゃく)

橋を支える脚のまわ
りでは、いろいろな
流れが発生するこ
とが多い。引かか
ると水の圧力で
動けなくなる。

10 ぬれた石や コンクリート

ぬれた石やコンクリ
ートの上は、コケが
ありすべりやすい。



1 川の近くの 高い草

草でまわりが良く見
えない場所は、すべ
って川に落ちること
もある。

2 川底が見えない場所、 流れの速いところ

立とうとすると足を
取られる。流れが速
いと止まれない。

3 中州 (なかつ)

川の中で土や砂など
がたまっていて、上
流の雨やダム放水
で急に水が増え、岸
にもどれなくなる。

引用：「日本赤十字社 千葉県支部 水の事故から、いのちを守る」より